



for HONDA New GROM [JC92]
2021年モデル (JC92) 対応

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスター機能搭載 オリジナル高性能カートリッジを組み込む フロントフォークアップグレード “TASC”



TASC for HONDA GROM 2021年モデル (JC92) ¥88,000 (税込) TASCGROM21

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組み込みには高度な技術を要するため、弊社にて組み込み作業を行います。表示価格には組み込み工賃が含まれております。

TASC 組み込み時に消耗部品の交換料金 ¥8,580 (税込上代)
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール

ノーマルフォークスペック

ダンピング
アジャスター
非装備

ダンパー
ロッド式

TASC フォークスペック

伸側
ダンピング
アジャスター

圧側
ダンピング
アジャスター

カート
リッジ式
高性能
積層シム

専用
フォーク
スプリング

TASC 内部イメージ
(写真は MT-09)

さらにブラッシュアップされた New GROM 最強フォーク!

純正のフォークには調整機能がなく、ダンパーロッドタイプのフロントフォークを採用する GROM。前モデルより伸側減衰力があり、コーナリング中でもすぐに戻ってくることはないが、ストローク初期から中間域での減衰力が弱い為、フワフワした感覚が残る。

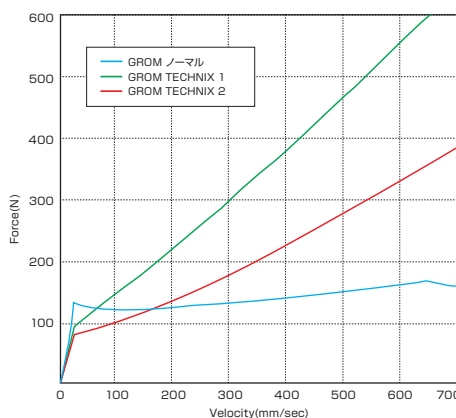
また、スプリングレートが弱く、大きな入力があった際は奥まで一気にストロークしてしまう。

そこで Technix では TASC キットを GROM 用に開発。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。スプリングレートも見直し最適化。調整機構を無段階式からクリック式に変更し、ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行までの幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

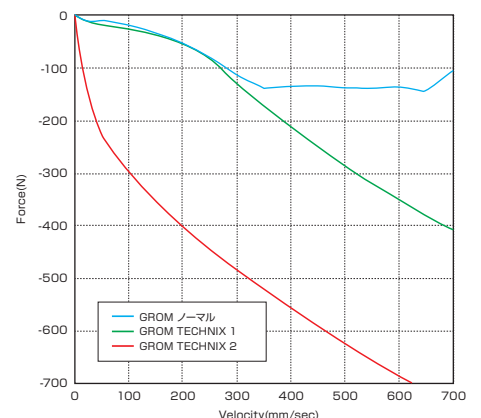


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

GROM TASC コンプレッションの比較例



GROM TASC リバウンドの比較例



ストリートセット

低速、低荷重でも乗り心地を損なわないようにプリロードを抜き小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸、圧とも減衰力を若干効かせマシンコントロールをしやすいようにセットアップ。

ワインディングセット

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりもコンプレッション・リバウンドともに強めにセットし路面への接地感を上げる。ストローク中間域でも減衰をしっかり効かせ安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ。

弊社テストでは、リアショックに「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

COMPRESSION/REBOUND は全締めから緩め方向へのクリック数、出荷時は STREET Set にて設定しております。



有限会社テクニクス 〒344-0032 埼玉県春日部市備後東 4-5-40 TEL:048-733-9055 FAX:048-733-9056 MAIL: shock@technix.jp URL: www.technix.jp

【ご注意】：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。